



2016. 8月第573号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

榎本 恵 主幹牧師宅
523-0877 近江八幡市池田町 5丁目 21-2
Tel & Fax 0748-26-7469

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

宗教改革者カルバンの説いた「予定説」は、議論の分かれるところではあるが、今もキリスト教信仰の大事な教理として語られる。「神の救済にあずかる者と滅びに至る者が予め決められているとする」(ウキペディア) 予定説は、ある意味残酷なものである。熱心に信じたものが救われるのでもなければ、どうしてあの人かと思われるようなものが、天国の門をくぐる事ができる。しかし、それは全て、神の自由意志による。まさに、「わたしは恵もうとする者を憐れむ。」(出33・19) というみ言葉通りなのだ。

では、どうせ天国へ行けるかどうか、わからないのであれば、私たちは神なしに、自分の好きなように生きていけば良いのだろうか。毎朝毎朝み言葉に聴くなどという敬虔な信仰生活なども、行いによる義に過ぎないのだろうか。否、決してそうではない。神がその摂理をもって、予め決められていること、人は変えることはできない。しかし、そうだからこそ、私たちはその神を信じるのだ。救われるか救われないかは、私

うものだった。確かにこの問題は、多くのクリスチャンたちの共通する思いだろう。私はそれに対しこう答えた。「あなたのご心配は無理もないことでしょう。けれどもあなた自身も、はたして天国に行けるかどうか、本当はわからないのですよ。それをご存知なのは神様だけです。私たちは天国へ行くために信じるので

もなければ、信じたから天国へ行けるのでもありません。私たちは、その全てを支配し、ご存知の方を信じるだけなのです。」彼は納得いつたのか、いかなかったのか、「はあ」と生返事したかと思うと、不思議そうな顔をして帰って行った。かつて、ペトロは復活の主と出会い、向こうから近

わたくしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ。」(出33・19) というみ言葉通りなのだ。では、どうせ天国へ行けるかどうか、わからないのであれば、私たちは神なしに、自分の好きなように生きていけば良いのだろうか。毎朝毎朝み言葉に聴くなどという敬虔な信仰生活なども、行いによる義に過ぎないのだろうか。否、決してそうではない。神がその摂理をもって、予め決められていること、人は変えることはできない。しかし、そうだからこそ、私たちはその神を信じるのだ。救われるか救われないかは、私

「予定説」は、確かに問題の多い教理であるかもしれない。予め決められているなら、何もする必要がないではないかと、自らの欲望のままに生きることが可能であろうし、また逆に、救いに入れられたしるしとしての栄光を、この世での成功と短絡的に結びつけ、自己満足したり、他者批判をすることもできる。しかし、誰が救われるのか、誰が滅びに入れられるのかは、だれにもわからないのだ。神はまさに「わたしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ」(出エジプト33・19) 私たちにとつて、大事なことはパウロが言うように、「主の名を呼び求めるものは、だれでも救われる」と信じ、その主に従っていくほかな

友よ、予め召し出されたものは決められている。けれども、たとえその日、天国の門が固く閉ざされ、名前を大声で叫んでも、その扉がピクリとも動かなかつたとしても、私たちは、今、この時を愚直に主に従って生きていこうよ。

瞑想

わたくしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ。

出エジプト33・19

主幹牧師 榎本 恵

愛知一日アシラムに参加して

仙敷 妙子

友人と私の2人で小さな子ども喜びそうなきの遊具を作り上げたことです。完成してホッとしている私に友人は一緒に作業して、いて気になった私の欠点や弱点をグサッと指摘してきたのです。気

を許して本音で語り合ってたと思っていきましたので私は怒りが込み上がってききました。彼女に反論したくなかったその時に、今回の一日アシラムでの静聴の時に示されたヤングバイブル) 3章



15節：ねたみや利己心は神からの知恵ではなく：真理に逆らえと叩きつける悪霊のものです。4・1：あなた方の口論や争いは一体何が原因ですか：神さまに願

第20回目を迎えた埼玉アシラムは、日本バプテスト連盟上尾キリスト教会を会場に50名の参加者が与えられ、村瀬俊夫先生から「腸(はらわた)のち

埼玉一日アシラムに参加して

印牧 直子

かにつまらない存在か、いやというほど思い知らされる時、主はあなたがたを助け起し、力づけてくださるのです。

とばを与えて下さいました。4・11主のご計画の結果には必ず祝福が伴うことを知ったのです。主は恵みとあわれみにあふれたお方だからです。



たメッセージから、父なる神様は私たち人を愛して愛してくださっていて、離れている人には戻ってきてほしい、いっしょにいる人

なのだと励ましを受けました。さまざまな教派や主張があると思いますが、主に愛されていると告白し、その愛を色々な形で伝えて行くという点で、クリスチャンたちが祈り合い、行動して世に証しをし、主の愛を受けて礼拝できたらと思いま

ご献金者
敬称略
4月分追加
香川 孝子
山田 久子
後宮 俊夫
松代

5月分
金山 良雄
橋本 るつ
井上 明子
井上 美子
山本 哲徳
山本 賀世
岩崎 浩二
斎藤 多和
伊達 平和
中川 千代
中野 千代
伊達 奈子
柴田 江喜
永島 喜代
明石 シオン
中川 隆雄
正岡 リツコ
吉田 美子
植松 美子
越智 千歳
上田 京子
山田 久子
香川 孝子
渡辺 寿子
吉川 和子
榎本 聖書教室
藤野 静子
金田 和子
沖野 朝子
山岡 洋明
井上 正和
山引 勝美
小林 茂男
小林 佳子
三宅 アシラム
常任運営委員会
飯島 とし
村山 勇子
牧野 伴里
尾崎 二恵
尾崎 久美
具出 俊夫
村瀬 俊夫
井置 俊夫
後宮 松代
米田 康子
歌子
チャイム
コンソート
池田
チャイムの会



第41回 教職アシラムの恵み

した。主に愛されてい
ると心にとめながら御
言葉が静聴すると、よ
り心に入ってくるのも
わかりました。日常生
活の中でたくさんイエ
スさまに語り、聴くと
いうことも楽しみで

す。神様が大好きにな
りました。村瀬先生、
みなさま、主のおとり
つぎを本当にありがと
うございました。

(カトリック
浦和教会員)

辻田志津子 恵
榎本 康子 康
榎本 光太郎
榎本 渡辺サエ子
静岡聖書教室
榎本百合子
安仲 萌子
岩波 久一
愛知 一日

アシラム
喜多川啓子
榎本 和子
榎本 悠子
東京聖書教室
西本知津子
カフエいろは
聖書人門講座
大山 悠文
山本多喜世
雀宮喜久子
いのことは社
板垣 弘毅
板垣 久子
外賀 センター
外賀 センター

聖書教室
河崎 玲子
本庄 啓子
内海 初子
井戸 淳子
広野新の家
ちいろは牧師
記念チャペル
夕礼拝
岡宮まり子
阿東青年
アシラム子
山田みよ子
後藤 麗子
湯野 静子
堀大野
キリスト教会
鹿屋
キリスト教会
91口
¥1,020,598

義 援 金
運営委員会
ちいろはタオル
ちいろは
アツちゃん・
シユラム君
2口
¥4,600

台湾の教会の
ために
盛岡朝教会
1口
¥10,000

合 計
94口
¥1,035,198
感謝いたします

砂川 勝彦
12年ぶりに教
職アシラムに
参加の恵みを頂
きました。
私は、開拓伝
道を始め8年
目になります。
それまで、神様
の恵みで、多く
の方々、聖書の
学びを通して福
音を提供してき
ました。聖霊の
導きの中で、信
仰を告白し、バ
プテスマを受け
る兄弟姉妹も現
れ、神様のみわ

ざをほめたたえていま
した。また、自分のよ
うな罪深い者が、救わ
れただけではなく、神
様の恵みの福音を伝
え、福音を信じ、救わ
れる方々を見ることが
でき、牧師として、幸
せ感さえも持っていま
した。しかし、その中
で、ある方は6年、あ
る方々は2年以上も聖
書を学びながらも、「礼
拝者」として献身でき
ない方々がおられました。
「私の聖書の教え
方がおかしいのか、福
音の理解に問題がある
のか」という悩みを
持つておりました。

教職アシラムに参
加する直前に「教え方
が間違っているのか」
という悩みも結局、自
分について悩む自己中
心だと教えられ、神様
のために実を結べない
自分を悲しむことがな
かったことを悔い改め
ました。

さて、アシラムに
参加して主はみ言葉を
くださいました。「：
ただ一つだけ知ってい
ます。私は盲目であつ
たのに、今は見えると
いうことです」(ヨハ
ネ9・25)。イエス・
キリストを信じて救
われた者は、「かつて
罪人であったがイエ
ス・キリストによって
罪が赦された」という
罪の赦しという恵みを
ただ、一つだけ知るだ
けでいいのだとこのみ
言葉から教えられまし
た。伝道の中で、これ
からも罪が赦された恵
みを伝えて行こう、確
認していこうと思いま
した。

また、最後に主は「わ
たしが自分のいのちを
再び得るために自分の
いのちを捨てるからこ
そ、父は私を愛してくだ
さる」(ヨハネ10・17)
のみ言葉を下さり、イ
エス様のゴールが復活
であり、再臨であるこ
とを教えて頂きました
。イエス様はご自分
からのちを捨てられ

(バプテスタ連盟善隣
バプテスタ伝道所)

主はわたしの力わたしの歌 — 沖縄慰霊巡礼の旅に参加して — ①

築山 広子

どこまでも青く澄み

切った高い空、そして、目覚むる紺碧のちゆら海、沖縄。

71年前、ここで地上戦があり、4人に1人が犠牲となったことを、知識としてはもっていましたが、その爪あとは沖縄全土に、また、憲法9条の届かない状態が、今に至るまで継続していることを



名護市辺野古、テント村の前に広がる海にて、思いをめぐらせる筆者

突きつけられた旅でした。

そんな中、「現実から今を見ると希望が見えにくいのが、約束から今を見るとということが切なことであり、そこに希望がある」とおっしゃった榎本恵牧師のことばに救われ、勇気づけられました。さらに、『負けて勝つとは、勝つまで続けること』

と言われた阿波根昌鴻さんのことばは、今の日本の状況を憂え、行動されている方々と連携しながら歩んで行く道標となることばとして、心に刻みましました。初沖縄の旅で、見聞き、体験したものの、出会った方々とのこと、それらをこれから自分の中で熟成させて、小さくても確かな一歩を進めたいと思った時間



伊江島の美しい海湧出(ワジー)をバックに

でした。

と、こう表現すると、四角四面の旅のようですが、旨い沖縄料理、素敵な出会い、美しい風景、そして琉舞のおまけまでついた楽しい旅でした。

現地スタッフの齋藤ご夫妻、ご一緒しました井上正子さん、そしてこの旅を企画し、本島全域と伊江島をレンタカーで疾駆してくださった榎本恵牧師と安子さんに、心より感謝申し上げます。

(日本キリスト教団 葵教会)

葵教会)

リラ・ブレカリア (祈りの豎琴) の調べ

キャロル・サックさんの癒しと祈りの音楽会が5月29日(日)アシユラムセンターちいるば牧師記念チャペル夕礼拝にて開かれました。

静かな湖

岡宮まり子
(日本キリスト教団天満教会)

サックさんと共にアンナ祈りの家に宿泊されたまり子姉より、一篇の詩が届きました。



一人の人が生きた人生に
花束を
静かな湖に
祈る気持ちでたたずんでみる

静かな音は
静かに深く
響いていく
魂の静かな場所へと

雨の音と
ハープの音色
静かな声

希望を失いそうになったとき
イエスさまの
語りかけが
いつも隣に居てくれる

静かな湖
静かな場所



家後、働話、おのののハーミ
のんのおのの恵
祈りさんのの会
の愛さんてたの
アンナクつてたの
アテサッにして音

熊本地震 義援金 感謝いたします

主の御名を賛美します。

今回の地震で失われた69人の命、倒壊した90,582棟の家屋、神様は私たちの苦しい思いをご存知なのでしょうか。神様は本当に愛なのでしょうか。私たちは今回の地震でそのような思いに襲われました。そして、一昨日から降り続く記録的な大雨で県北部は土砂災害や河川の氾濫が相次ぎ、被災地の益城町では木山川の堤防が決壊しました。大雨の中、避難所や避難テントで暮らしておられる人々の気持ちを考えると胸が締め付けられます。

しかし、全国から暖かい支援を戴き、被災地の人々は諦めることなく復興に向かって、力強く立ち上がっています。私たち日本福音ルーテル教会は次の基本理解を持って熊本地震の支援活動に取り組んでいます。「我々は災害そのものに神様の御心があるとは語らず、災害や苦難を神の裁きとする考えにも立ちません。苦難の象徴である十字架と希望の象徴である復活のキリストに心を向け、災害によってもたらされた苦難の中にある人々のとなりびととして、信仰と希望と愛をもって、神と人に仕えてゆく教会であることを目指します。」

具体的には、救援対策本部「できたしこルーテル」を広安愛児園に立ち上げ…できたしこは熊本弁で「やれることを、やれるだけ、励ますのではなく、寄り添い、心をこめて取り組んでいこう」という意味…、救援対策本部は副教区長の岩切牧師をリーダーとして、福岡、北九州の牧師先生方と現地専従スタッフが当たられ、支援を続けて下さっています。また熊本のルーテル教会もそれぞれが置かれた立場で被災された方々の支援に当たっています。震災から二ヶ月を経て、今は避難所の働きが終了し、これからは対策本部のある広安愛児園避難所が終息するまで支援を継続しつつ、ニーズを聞き取り地域支援（片付け、引っ越し）を継続し、53戸の仮

設住宅が建設される広崎地区の仮設支援に入ることが検討されています。私たち熊本アシュラムもこの支援活動に祈りを合わせ、連帯していきたいと思っています。住宅に住まわれている方々のニーズを聞きながら、できたしこの支援ができたかと考えております。皆様から寄せられた義援金をこれからの活動資金として大切に使用させていただきます。その一つとして、広崎仮設住宅にプランターと花の苗と土を持って訪問し少しでも心が憩われるような取り組みをしたいと考えています。

今回は、全国のアシュラムの友から尊い復興支援金を戴き、本当に嬉しく、心強く思います。皆様の御愛労に、キリストの十字架の死という犠牲を代償にして、私たちに永遠の命を与えてくださった神様の愛の深さ、広さを思います。

来月の九州教区の常議員会で、これからの救援対策についての会議が持たれます。そこで検討される取り組みの課題は自宅復帰・仮設入居後に孤独死を招かない、親子の震災後の心のケアなどで、緊急対応後の本格復旧のための働きはまだこれからです。しかし、私たちは忘れられていない、全国のアシュラムの皆様からの祈りの輪の中に私たちは置かれている。そう考えると心の底から希望と勇気と力が湧いてきます。これからも熊本の被災地のためのお祈りを宜しく願います。

6月の福岡聖書教室は、東京のルーテル市ヶ谷センターで本教会常議員会が開催され上京しておりましたので、失礼いたしました。恵先生が皆様からの義援金をわざわざお持ち下さったとお聞きして、本当に有り難く申し訳なく思っております。7月の福岡アシュラムは参加させて戴きます。恵先生、福岡アシュラムの友との学びの時を楽しみにしております。

最後に全国のアシュラムの友とセンターのお働きの上に神様の祝福が豊かにありますようにお祈り申し上げて筆をおきます。本当にありがとうございました。

主にありて

竹内一臣（日本福音ルーテル教団合志教会）



早天祈禱会後、楽しい朝食(るつ子シェフ) 写真左、長倉兄(FEBC)、右から、花城兄、伊達姉

が、来られた。滋賀県の教会の取材とともに、来年1月から3月までの15回にわたり放送される、番組の打ち合わせに來られた。皆さんと大声で語る大集会のようなものではなく、あなたと呼びかけるラジオの前で、静かに耳をすます人に語りかけるようなものを作りた。いねと2人で話し合った。アシュラムセンターのホームページも、もうすぐ完成し、公開される日も近い。全てのことや合い働いて、益となるようにと祈っている。(恵)

あとがき

8月のアシュラムなど

22(月) ~ 24(水)	第26回 軽井沢アシュラム (長野・南ヶ丘倶楽部) 奉仕者 大門義和	03 - 3607 - 9063 川口博司兄・光代姉
---------------------	--	-------------------------------

2016年9月のアシュラム予定

鹿児島1日アシュラム	
日時	9月19日(祝・月)
奉仕	大門義和師
申し込み	鹿児島アシュラム実行委員会 099 - 254 - 3024
第41回 京浜アシュラム	
日時	9月22日~24日(木~土)
場所	イエズス会霊性センター
奉仕	加々美要師
申し込み	本田英一師 042 - 373 - 2577
第4回 日光オリーブの里アシュラム	
日時	9月26日~27日(月~火)
場所	日光オリーブの里
奉仕	櫻本恵師
申し込み	アシュラムセンター 0748 - 33 - 4030

ご案内をご覧下さい

2016年10月以降のアシュラム予定

10月3~4日	山陰アシュラム
10月7~8日	新潟一泊アシュラム
10月10日	岩松アシュラム
10月10日	福島浜通りアシュラム
10月14~15日	北陸・富山アシュラム
10月28~29日	愛知一泊アシュラム
11月1~2日	札幌アシュラム
11月10~12日	阪神アシュラム

~センターの大切な働き 各地集会~

他に沖縄、福岡、阪神、広野、桜美林にて



みことば

岡山聖書集会 (無教会)
香西 信

「ことばの意味を開く (5)」

悔い改めとは、キリスト教会ではよく用いられる言葉で、私たちにもなじみ深いものです。

悔い改めとは元々の言葉では、シュープ(ヘブライ語)、メタノイア(ギリシャ語)と言います。これは「立ち帰る、向きを変える」という意味です。

私たちは日々の生活の中で、人間の言葉によって生活の糧を得ています。言葉を使いこなし、他者あるいは社会とコミュニケーションを図ることによって生きています。

しかし、人間の言葉が生活全般を支配し、それを価値の中心において生きることは、とても危険なことです。それはしばしば人間の言葉で作りあげられた偶像を崇拝することになります。また前回、指摘しました人間の言葉の暴力性によって、魂は自由を失って死んだようになります。

聖書はこのように人間の言葉を価値の中心に置く生き方から、180度の方向転換を私たちに説いています。それが悔い改めです。つまり悔い改めとは神さまの方向を向いて生きる生き方へと向きを変える、神さまのもとへと立ち帰ることです。人間中心の生き方から神さま中心の生き方へ向きを変えることです。

この言葉は聖書が日本語に翻訳される過程で作られたものです。日本語の辞書には「キリスト教で自分の罪を認めて、神の恵みによる罪のゆるしを求めること」(大辞林)とあります。

自分を省みてもそうなのですが、この言葉には過去の罪、過ちを反省する、悔いるというニュアンスが強いと思っていました。ですから、とすれば、過去の自分の罪を事細かに思い起こし、数え上げ、懺悔することがその中心になりがちです。もちろんそれはとても大切なことです。

しかしもっとも大切なのは、神さまの方に向き直ること。そして神さまから恵みをいただいて罪を赦されることです。そして、悔い改めることによって、私たちは神さまの前にひざまずき、霊とまことの礼拝を捧げることができるのです。